

令和2年度 出資団体評価シート

1 基本情報

団体名	(株) 札幌リゾート開発公社	所管課	経済観光局観光・MICE推進課
基本財産	1,020,000千円	記入者	担当 澤田 電話 011-211-2376
設立年月日	昭和48年(1973年)6月28日	本市出資額	200,000千円 (出資割合 19.6%)
設立・出資目的	「札幌市長期総合計画」に基づき、昭和46年度から第1次5ヶ年計画として社会開発の推進のなか、環境破壊等から市民を守り豊かな市民生活を確立するため、自然を生かしたレクリエーション施設等の整備と温泉保養地としての定山溪地区の振興を目的として設立した。	出資年月日	昭和48年(1973年)12月4日
沿革		昭和48年 設立 昭和51年 豊平峡電気自動車開業 昭和53年 札幌国際スキー場開業 昭和57年 ていねプール開業(札幌市受託業務) 昭和60年 定山溪温泉スポーツ公園開業 平成13年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設索道部門(札幌市受託業務) 令和2年 札幌市藤野野外スポーツ交流施設単独受託(札幌市受託業務)	
代表者	代表取締役社長(常勤) 大谷内 則夫(市OB)		
主な出資者	① 札幌市 (19.6%) ② 日本政策投資銀行 (14.7%) ③ JTB (11.5%) ④ 日本トラスティ・サービス信託銀行 (5.8%)		
団体所在地	〒061-2301 札幌市南区定山溪937番地先 電話 011-598-4511		

2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営(6ページ)	② 札幌国際スキー場事業(7ページ)
ていねプール(手稲稲積公園)の指定管理者として、プールの維持管理、安全確保に関する業務を行う。	定山溪地区観光振興の一環として札幌国際スキー場の管理運営を行う。
③ 豊平峡電気自動車・レストハウス事業(8ページ)	④ Fu'sスノーエリア索道・コースの管理(9ページ)
豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業を通じて魅力ある場所の提供に努める。	指定管理者として藤野野外スポーツ交流施設の索道・コース管理業務を行う。令和2年4月から単独で指定管理者となり同施設の管理運営を行う。
(2) 総支出に占める事業支出割合	92.9% (主要事業支出合計 1,039,168千円 ÷ 総支出 1,118,018千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数に増加が見られるなど、定山溪地区の振興といった目的に寄与し、一定の効果が出ているものと考えているが、さらに効果を高める余地があると認識している。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	札幌リゾート開発公社が行う各事業により、札幌国際スキー場や豊平峡ダムの来場者数に増加が見られることから、出資・設立目的を達成するために必要な内容を盛り込んでいると認識しているものの、常に事業内容を検証の上、事業の拡充や改善を行うなど、売上やサービスの向上に努める必要がある。

3 団体職員・構成員等

令和2年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員の任期		
						10歳代	20歳代	30歳代	平均年齢	取締役	監査役	
役員					18	0	5	7	47.6	2年	4年	
常勤取締役	1	0	1	1		40歳代	10	50歳代	11	代表権のある役員 の就任年月		
常勤監査役	0	0	0	1		60歳代	8	取締役		H29.8	監査役	H28.8
非常勤取締役	12					職員総数の推移(人)		H30.4.1時点	98			
非常勤監査役	2				H31.4.1時点		98					
職員					108							
常勤管理職	0	0	7	0								
常勤一般職	0	0	34	0								
非常勤職員	67											

4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		H30年度決算	R1年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳	経常収入 (a+f)	1,201,616	1,219,905 (100.0%) (+18,289)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	1,188,357	1,208,383 (+20,026)
			営業費用 (b)	1,122,408	1,118,018 (▲4,390)
			うち販売費・一般管理費 (c)	1,120,929	1,116,454 (91.5%) (▲4,475)
			うち人件費 (d)	385,477	385,600 (31.6%) (+123)
			営業利益 (e)	65,949	90,365 (+24,416)
	営業外	営業外収益 (f)	13,259	11,522 (▲1,737)	
		当期純利益 (g)	48,928	28,981 (▲19,947)	
	貸借対照表	資産 (h)	資産 (h)	2,661,259	2,635,927 (▲25,332)
			流動資産 (i)	655,705	737,231 (+81,526)
			固定資産 (j)	2,005,554	1,898,696 (▲106,858)
		負債 (k)	負債 (k)	944,398	890,084 (▲54,314)
			流動負債 (l)	214,289	230,171 (+15,882)
			固定負債 (m)	730,109	659,913 (▲70,196)
純資産 (n)		純資産 (n)	1,716,861	1,745,842 (+28,981)	
		資本金 (o)	1,020,000	1,020,000 (0)	
	借入金残高 (p)	682,100	603,500 (▲78,600)		

R1年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a, f	ていねプール事業の利用料金収入の増加や、令和2年4月から藤野野外スポーツ交流施設の単独での指定管理開始に伴う収入の増加により売上が増加した。札幌国際スキー場は1月までは売上也順調に推移していたが、2月以降は新型コロナウイルスの影響で前年を下回る結果となり、全体では経常収入は1,219,905千円（対前年比18,289千円増）となった。
e, g	営業利益は90,365千円と前年比で24,416千円増加した一方、特別損失として6人乗りゴンドラの固定資産除却損を計上したことなどの影響で、当期純利益は28,891千円（対前年比19,947千円減）となった。
k, p, h	資産（h）については、現預金は増加、負債（k、p）は借入金返済を滞りなく行った結果減少した。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	H30年度決算	R1年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)
市委託料	24,754	33,086	(+8,332)
市業務委託料	10,797	13,473	(+2,676)
うち随意契約	3,218	3,870	(+652)
市指定管理費	13,957	19,613	(+5,656)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	0	0	(0)
うち市業務委託分	0	0	(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高	0	0	(0)
損失補償等限度額	0	0	(0)
損失補償契約等に係る債務残高	0	0	(0)
(参考) 市施設利用料金収入	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)

6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		H30年度	R1年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	696,861	725,842	(+28,981)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	64.5%	66.2%	(+1.7%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	306.0%	320.3%	(+14.3%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	116.8%	108.8%	(▲8.1%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	25.6%	22.9%	(▲2.7%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	12,261千円	12,448千円	(+187千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	32.4%	31.9%	(▲0.5%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	11,438千円	11,392千円	(▲46千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	94.3%	92.4%	(▲1.9%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.3%	0.3%	(+0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	2.1%	2.7%	(+0.7%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	9期連続経常利益を計上したほか、自己資本比率や流動比率、固定比率など健全性を示す指標が安定していることから、経営状態は健全であると判断される。 生産性については、人件費率が前年度より減少しており、自立性については、市依存度が前年度と同水準となっていることから、それぞれ比較的安定していると判断される。					

(注1)市収入=市補助金・交付金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の進捗評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

(1)出資・出捐

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○出資団体としての在り方の検討							
①	市出資金	目標	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
		実績	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
②	出資団体としての在り方についての検討	目標	市の施策と団体の業務との関わり検討	出資団体としての在り方決定			
		実績	-	検討	決定		
評価	経営状況については安定しつつあるものの、今後計画されている設備更新の実施時期等を考慮し、当面、出資を継続する。一方、定山溪地域との周遊性については改善の余地があることから、出資の目的や定山溪魅力アップ構想も踏まえて、今後もより一層定山溪地域の活性化に取り組んでいく必要がある。						

(2)人的関与

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○最低限の人的関与の継続							
①	市派遣職員数	目標	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0
②	役員の就任数(取締役)	目標	1	1	1	1	1
		実績	1	1	1	1	1
評価	本市職員の役員就任を最小限の人的関与としており、引き続き継続する。						

(3) 団体の活用

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○札幌国際スキー場の利用者増							
①	来場者数	目標	248,000	248,000	266,000	266,000	266,000
		実績	245,274	242,747	252,485	264,849	272,517
②	売上高	目標	898,000千円	904,000千円	904,000千円	904,000千円	904,000千円
		実績	844,330千円	927,299千円	928,473千円	1,005,318千円	993,650千円
評価	来場者数、売上高ともに目標値を達成しており、引き続き魅力の向上に努め更なる利用者の増加を目指した事業展開を行っていくこと。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○豊平峡ダムを活用した定山溪地区の観光振興							
①	豊平峡ダム来場者数	目標	79,000	80,000	80,000	80,000	80,000
		実績	73,259	78,515	86,758	78,520	84,933
②	定山溪温泉街との連携事業の実施数	目標	3事業	3事業	3事業	3事業	3事業
		実績	2事業	3事業	3事業	3事業	3事業
③	定山溪温泉街との連携事業（日帰り入浴パック）の利用者数	目標	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300
		実績	2,083	2,950	2,985	3,402	3,044
評価	①、②の指標については、30年度の実績と比較して同実績もしくは増加しているが、③は減少していることから、引き続き利用者の増加につながるような事業展開を行うなど、定山溪地区の観光振興に努めること。						

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○青少年のウィンタースポーツ振興							
①	スキー学習の受入者数	目標	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)	23,500人 (45校)
		実績	23,388人 (44校)	23,542人 (41校)	21,425人 (46校)	23,511人 (45校)	23,801人 (43校)
②	子どもを対象としたイベントの参加者数	目標	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績	1,556	1,787	2,190	1,962	1,673
評価	子どもを対象としたイベントの参加者数は減少したものの、スキー学習の受入者数については増加しているため、引き続き青少年のウィンタースポーツへの参加意欲を高める事業を継続していくこと。						

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○業務効率化による経費の削減・営業戦略の見直し・拡充							
①	人件費	目標	353,000千円	363,000千円	352,000千円	352,000千円	352,000千円
		実績	352,749千円	366,873千円	361,083千円	385,477千円	385,600千円
②	物件費	目標	499,000千円	505,000千円	474,000千円	481,000千円	482,000千円
		実績	459,817千円	495,360千円	510,356千円	524,832千円	519,453千円
評価	30年度の実績と比較して、売上高が増加する中であって人件費は同水準、物件費は削減できており、今後も継続して経費の抑制に努めること。						

(5) 団体統制

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○社員の資質向上							
①	社員研修実施回数	目標	10回	10回	10回	10回	10回
		実績	7回	9回	19回	22回	22回
②		目標					
		実績					
評価	目標実施回数を達成している。引き続き、社員の資質及び能力の向上を図るため、研修の実施を継続すること。						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		計画策定時	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
No.	指標名						
○障がいのある方の自立支援							
①	障害者就労支援施設からの物品調達や業務委託件数	目標		1件	2件	2件	3件
		実績	0件	1件	1件	1件	1件
②		目標					
		実績					
評価	目標値を下回っているため、計画的かつ積極的に障害者就労施設からの物品調達を行うこと。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	http://www.srkk.co.jp/
Eメールアドレス	なし
【経営状況等】	
<input type="checkbox"/> 定款	<input type="checkbox"/> 役員名簿
<input type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書
	<input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図
	<input type="checkbox"/> 事業計画書
	<input type="checkbox"/> 予算書
	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画
【事業情報等】	
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報
<input checked="" type="checkbox"/> その他（	）
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：パンフレット、テレビCM、ラジオCM、新聞広告、雑誌広告、会報誌広告、路線バス社内ポスター、道路看板、イベント出展 等	

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和2年7月1日現在のものです。

事業評価 (1) ていねプール(手稲稲積公園内)の管理運営

1. 事業概要	事業所管課：建設局みどりの推進部みどりの管理課	担当：中村	電話：011-211-2536
(1)事業内容	手稲稲積公園、維持管理及び運営（園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務）		市指定管理費(公券) 10,374
(2)事業目的	レクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する		
(3)事業開始	昭和57年（1982年）7月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		57,270 (4.8 %)	69,725 (5.7 %)	(+12,455)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	9,594	10,374	(+780)	
	市施設利用料金収入	35,053	43,779	(+8,726)	
	自主事業収入(補助金除く)	12,103	15,572	(+3,469)	
	その他収入	520	553	(+33)	
	費用(支出)	64,597	68,804	(+4,207)	
	事業費	53,177	57,640	(+4,463)	
	管理費等	11,420	11,164	(▲256)	
	収支差	▲7,327	921	(+8,248)	
	収支比率	88.66%	101.34%	(+12.68%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	低年齢層(幼稚園・保育園)への営業活動	実施済	実施予定	実施済	営業中止
②	小中学校の児童・生徒へのチラシ配布	実施済	実施予定	実施済	
③	健康増進関連施設へのチラシ配布	実施済	実施予定	実施済	
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	全プール利用者数(人)	66,820	75,500	80,317	営業中止
②	4歳以上中学生以下のプール利用者数(人)	41,921	47,240	48,192	
③	利用者満足度調査(大いに満足、満足の比率)	99.8%	100.0%	99.8%	
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	7月中の天候に恵まれたこともあり、目標を上回る8万人台の利用者を獲得できた。施設老朽化等の課題がある中、事故防止や利用促進に努め、利用者からも高い満足度を得られていることを評価する。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から営業中止となったが、今後も、活動指標に掲げている営業活動等の継続に加え、積極的にイベント等を実施するなど新規利用者獲得及び利用促進に努めていただきたい。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	利用者増加に伴い、昨年度赤字だった収支の改善がみられる。収入増加の一方で管理費用を節約するなど、効率的な業務遂行を行ったと評価する。

事業評価 (2) 札幌国際スキー場事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部 観光・MICE推進課	担当： 澤田	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	札幌国際スキー場における、リフト・ゴンドラ運行・レストラン運営・各種スクール運営・用具のレンタル・休憩施設の提供・コース整備		
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供すると共に定山溪地域に於ける振興策としてレクリエーション基地の開発を行う。		
(3)事業開始	昭和53年(1978年) 12月		

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		1,031,174 (85.8 %)	1,016,363 (83.3 %)	(▲ 14,811)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	1,020,384	1,006,600	(▲ 13,784)	
	その他収入	10,790	9,763	(▲ 1,027)	
	費用(支出)	960,413	967,816	(+7,403)	
	事業費	903,644	915,867	(+12,223)	
	管理費等	56,769	51,949	(▲ 4,820)	
	収支差	70,761	48,547	(▲ 22,214)	
	収支比率	107.37%	105.02%	(▲ 2.35%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	会員組織(くるトクラブ)の組織強化(会員数)	14,475	15,500	14,424	14,000
②	集中レッスンの実施(参加者数)	3,579	3,600	3,090	1,800
③	シニア振興DAYの継続実施(参加者数)	6,936	8,000	7,706	7,000
④	他スキー場との連携(シーズンネット会員数)	893	1,000	773	800
⑤					※コロナの影響を考慮
⑥					
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	来場者数	264,849	263,700	272,517	200,000
②					※コロナの影響を考慮
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない ホームページやSNSによる幅広い情報発信や、小樽方面からの予約制バスの新規運行などインバウンド客向けの対応の強化により、来場者数が増加していることが評価できる。 今後についても、定山溪地区と一層連携し、経済・観光振興の役割を担うよう、インバウンドや国内のスキー人口を拡大させる取り組みを検討することとし、初心者や初級者の受入体制強化や利便性の向上にも取り組むことで、来場者の更なる増加を図り、魅力あるスキー場づくりを行っていただきたい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 新型コロナウイルスの影響により、30年度に比べ収支状況は悪化したが、来場者数が増加していることや利益を計上していることから、経営は比較的安定していると評価できる。

事業評価 (3) 豊平峡電気自動車・レストハウス事業

1. 事業概要	事業所管課： 経済観光局観光・MICE推進部 観光・MICE推進課	担当： 澤田	電話： 011-211-2376
(1)事業内容	豊平峡電気自動車・レストハウス事業の運営、受託事業として公園管理		
(2)事業目的	紅葉の名所として市民に親しまれている豊平峡において、豊平峡電気自動車・レストハウス事業を通じて市民の健康増進に寄与するとともに定山溪地区の観光振興を図る。		
(3)事業開始	昭和51年(1976年) 8月		
			市委託料(随意契約) 2,980 市委託料(一般競争入札) 7,588

2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		51,391 (4.3 %)	57,222 (4.7 %)	(+5,831)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	10,568	12,362	(+1,794)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	39,104	42,872	(+3,768)	
	その他収入	1,719	1,988	(+269)	
	費用(支出)	49,795	55,396	(+5,601)	
	事業費	33,372	40,945	(+7,573)	
	管理費等	16,423	14,451	(▲ 1,972)	
	収支差	1,596	1,826	(+230)	
	収支比率	103.21%	103.30%	(+0.09%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	ディケアサービス施設の来場促進	実施済	実施予定	実施済	実施予定
②	地元企業・団体等への販促	実施済	実施予定	実施済	実施予定
③	定山溪温泉、果樹園とのタイアップ設定	実施済	実施予定	実施済	実施予定
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	来場者数(豊平峡ダム・インバウンド含む)	78,520	87,800	85,963	81,350
②	インバウンド誘致(インバウンド来場者数)	12,902	16,600	14,492	9,550
③					※コロナの影響を考慮
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	全体の来場者数、インバウンド来場者数ともに増加しているため、引き続き無料シャトルバスの運行やSNSなどを通じた情報発信といった取組により一層努め、積極的な誘客の強化を図っていただきたい。 また、定山溪温泉や近郊の観光施設等との連携を継続し、定山溪地区全体の観光振興の役割を継続して担っていくことを期待する。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	前年度と比較し、収支差が増加しており、引き続き収支の向上に努めていただきたい。

事業評価 (4) 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営

1. 事業概要	事業所管課： スポーツ局スポーツ部施設課	担当： 油井	電話： 011-211-3045
(1)事業内容	○～R2年3月 藤野野外スポーツ交流施設（※）のリフト及び圧雪車の運行、保守管理 ○R2年4月～ 藤野野外スポーツ交流施設の管理運営 （※）一般財団法人さっぽろ健康スポーツ財団と株式会社リゾート開発公社のコンソーシアム「Fu'sコンソーシアム札幌」として、藤野野外スポーツ交流施設の指定管理業務を受託。令和2年4月からは単独で指定管理者となった。		市指定管理費(公券) 18,127
(2)事業目的	札幌圏におけるレクリエーション、スポーツ観光施設の開発及び管理運営を通じて札幌市民に健全な憩いの施設を提供する。		
(3)事業開始	平成13年(2001年)12月		

2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	H30年度	R1年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		60,390 (5.0 %)	75,016 (6.1 %)	(+14,626)
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	3,328	18,127	(+14,799)	
	市施設利用料金収入	56,857	29,043	(▲ 27,814)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	205	27,846	(+27,641)	
	費用(支出)	56,560	67,905	(+11,345)	
	事業費	47,087	49,713	(+2,626)	
	管理費等	9,473	18,192	(+8,719)	
	収支差	3,830	7,111	(+3,281)	
	収支比率	106.77%	110.47%	(+3.70%)	
(2)活動指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	営業日数	102	122	49	121
②				雪不足・コロナの影響	
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		H30年度実績	R1年度目標	R1年度実績	R2年度目標
①	リフト輸送人員数	787,672	887,200	337,707	621,000
②				雪不足・コロナの影響	※コロナの影響を考慮
③					
④					
⑤					
⑥					

3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出ていない 令和元年度(2019/2020シーズン)については、積雪に恵まれず、1月11日に冬期の営業を開始した。加えて、新型コロナウイルス感染症対策として施設を休館したことにより、営業日数及びリフト輸送人員数ともに昨年度実績・目標値を大きく下回る結果となった。令和2年度からは単独で指定管理を行うことから、引続き鉄道事業法に基づく安全な索道運行を実施するとともに、施設の利用者増加に繋がるよう、一層のサービス向上及び施設のPR等に努めることを期待する。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 事業収支は黒字を達成したものの、上記の理由による営業日数の減少に伴い、前年度と比べ施設利用料金収入が減収していることから、利用者の声を踏まえた更なる工夫により、引続き安定した施設運営を期待する。

貸借対照表

令和2年5月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	737,231,027	流動負債	230,171,375
現金及び預金	691,752,330	1年以内返済予定の	
売掛金	1,650,668	長期借入金	78,600,000
商品	191,326	未払金	33,780,375
貯蔵品	2,563,359	未払法人税等	15,795,500
前払費用	17,053,428	未払事業所得税	10,104,400
立替金	1,980	未払消費税等	50,663,500
未収入金	24,016,331	未払費用	1,426,077
未収収益	5	預り金	20,390,078
仮払金	1,600	前受収益	5,200,295
		賞与引当金	6,712,800
		ポイント引当金	7,498,350
固定資産	1,898,696,257	固定負債	659,913,650
有形固定資産	(1,845,747,773)	長期借入金	524,900,000
建物	824,166,653	退職給付引当金	81,013,650
構築物	241,158,100	資産除去債務	54,000,000
機械装置	552,730,992		
車輛運搬具	92,838,922		
工具・器具・備品	33,748,058		
土地	101,105,048		
無形固定資産	(19,060,505)	負債合計	890,085,025
電話加入権	1,412,402	(純資産の部)	
ゲレンデ整備費	6,138,000	株主資本	1,745,842,259
ソフトウェア	11,510,103	資本金	1,020,000,000
投資その他の資産	(33,887,979)	利益剰余金	725,842,259
投資有価証券	27,000,000	利益準備金	45,078,000
出資金	20,000	その他利益剰余金	680,764,259
長期貸付金	585,000	別途積立金	218,000,000
差入保証金	5,730,800	配当平均積立金	60,000,000
役員退職積立金	83,200	繰越利益剰余金	402,764,259
その他投資	468,979	純資産合計	1,745,842,259
資産合計	2,635,927,284	負債及び純資産合計	2,635,927,284

損 益 計 算 書

自 令和元年6月 1日

至 令和2年5月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
売上高		1,208,383,718
ス キ ー 場 事 業 売 上	1,006,600,477	
豊 平 峡 事 業 売 上	57,073,404	
て い ね プ ー ル 事 業 売 上	69,725,493	
藤 野 事 業 売 上	74,984,344	
売上原価		1,563,666
売 上 原 価	1,563,666	
売 上 総 利 益		1,206,820,052
販売費及び一般管理費		1,116,454,491
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,116,454,491	
営 業 利 益		90,365,561
営業外収益		11,522,347
受 取 利 息	40,583	
受 取 配 当 金	900,800	
雑 収 入	10,580,964	
営業外費用		8,022,429
支 払 利 息	7,957,727	
雑 損 失	64,702	
経 常 利 益		93,865,479
特別利益		69,792
固 定 資 産 売 却 益	69,792	
特別損失		33,943,357
固 定 資 産 除 却 損	33,943,357	
税 引 前 当 期 純 利 益		59,991,914
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		22,301,762
法 人 税 等 調 整 額		8,708,977
当 期 純 利 益		28,981,175